

心臓血管放射線研究会学術研究助成  
学会報告記

氏名 後藤 義崇

所属機関名（発表時） 三重大学医学部附属病院 放射線診断科

発表学会名 ASCI 2015 (moderator poster session)

学会開催年月日 2015 年 6 月 11 日 ~ 13 日

演題名 Assessment of Transmural Extent of Myocardial Infarction using CT Delayed Enhancement using Targeted Spatial Frequency Filtration: Comparison with Late Gadolinium Enhancement MRI in Patients with Known or Suspected Coronary Artery Disease

優秀論文賞受賞 無

学会報告記（800字程度・写真1枚）

◇本 文

2013年8月17-18日にマレーシアの Le Meridien Kuala Lumpur で開催された、第9回 ASCI2015 に参加させて頂きました。

私自身としては2回目の ASCI 参加でしたが、韓国での MERS の影響もあり韓国からの出席者が少なかったためか、過去の会と比較して出席者は少ないようでした。この度の私の演題は、「Targeted Spatial Frequency Filtrationを用いた心筋遅延造影CTによる心筋梗塞壁内深達度の評価」でした。Moderator poster session であったために、moderator 二人と周囲の観衆に説明する形で発表しました。他のセッションと時間が重なっていたこともあり、ポスターセッションの参加者はあまり多くありませんでした。

学会中は、各国の著名な先生方による教育講演が多数行われており、Eike Nagel 先生をはじめ、海外の著名な先生方の講演を聴くことができました。しかしマレーシア国内の心臓画像に関する現状を反映してか、内容としては基礎的なものが中心であり、新たな知識を得るというよりは知識の整理になるようなものでした。

心臓MRIに関しては、今後アジアCMRレジストリーが発足・活用していく予定となっています。アジア各国の心臓血管画像の現状を確認し、アジア地域での同年代の医師とふれ合うことができる ASCI が、日本とアジア全体の心臓血管画像発展への架け橋となることを今後も期待します。

やや天候不良ではありましたが、治安がよく、物価が比較的安く、食事もおいしく、クアラルンプールの滞在は満足できるものでした。超高層ビルが建ち並び、建設ラッシュが続いている街は非常に活気があり、発展著し東南アジアを体感することもでき、有意義な時間を過ごすことができました。

最後に、学会発表にあたり多くのご指導をいただいた三重大学放射線診断科の先生方と、学会参加費を助成いただいた心臓血管放射線研究会のみなさまに感謝申し上げます。

